

## 令和2年度第2回

# 高松市高齢者保健福祉・介護保険制度運営協議会

- (1) 第7期高松市高齢者保健福祉計画の進捗状況について …… 1
- (2) 第8期高松市高齢者保健福祉計画策定に係る基礎調査の結果について …… 6
- (3) 第8期高松市高齢者保健福祉計画の骨子（案）について …… 7

令和2年8月27日（木）  
高松市防災合同庁舎3階 301会議室

# 第7期高松市高齢者保健福祉計画の進捗状況について

## 【1】 成果指標の達成状況

[ ]内は目標値

指標名(単位)		平成 28年度	29年度	30年度	令和 元年度	(目標値) 2年度
1	地域包括ケアシステムの構築に対する市民満足 (%)	23.9	22.0 [-]	26.9 [24.5]	25.4 [25.0]	25.5
2	介護・支援を必要としていない高齢者の割合(自立高齢者率)(%)	79.1	79.3 [78.0]	78.8 [78.9]	78.7 [78.7]	78.5
3	介護・支援を必要としていない後期高齢者の割合(自立後期高齢者率)(%)	61.7	62.4 [59.0]	61.8 [62.2]	62.1 [62.4]	62.1
4	生きがいがある高齢者の割合 (%)	59.0	(※1) —	(※1) —	56.6 [62.5]	—

(※1)計画期間の開始前年度に実施する「高齢者の暮らしと介護に関するアンケート調査」により確認することから、平成29・30年度は実績なし。

\* 指標1～3は、概ね目標を達成できている

\* 指標4は、目標を下回っている。前回(H28)調査から、回答の選択肢を「はい・いいえ」から「生きがいあり・思いつかない」に変更しており、「思いつかない」を選択する人の割合が増加している。

# 第7期高松市高齢者保健福祉計画の進捗状況について

## 【2】基本目標・重点課題ごとの達成状況と課題

基本目標	共に支え合う地域づくり
重点課題	包括的な支援体制の構築



(目標値設定項目数：73)

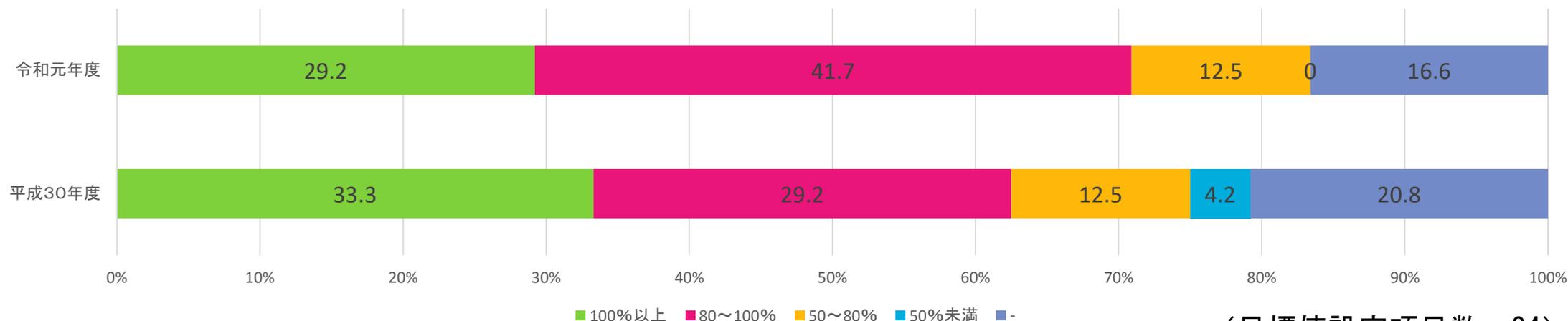
### 第8期計画に向けての課題

- \* 在宅医療・介護連携の推進及び市民への周知・啓発
- \* 適切な情報提供や相談体制の充実
- \* 医療・介護等の専門的なサービスの充実
- \* 住民が主体となった、身近な助け合いや孤立化を防止するための見守り等の体制づくり

# 第7期高松市高齢者保健福祉計画の進捗状況について

## 【2】基本目標・重点課題ごとの達成状況と課題

基本目標	自分らしい生活と生きがいがづくり
重点課題	介護予防と社会参加の推進



(目標値設定項目数：24)

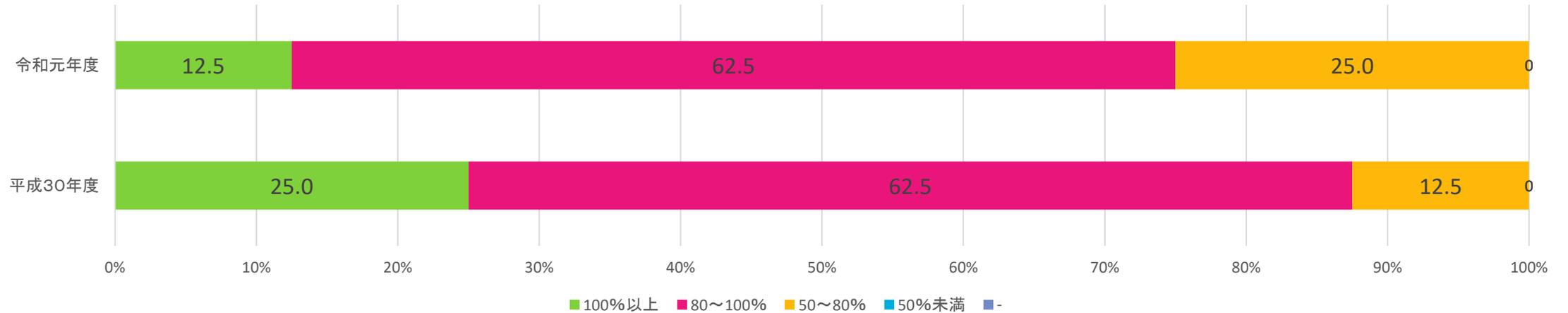
### 第8期計画に向けての課題

- \* 持続的かつ現実的な生きがいがづくり・介護予防事業の展開
- \* 高齢者が長年培ってきた優れた技術や経験、知識等を発揮できる活躍の場、社会参加の場の確保
- \* 生活機能が低下する前の健康な時から行う、個人に合わせた適切な予防
- \* 健康寿命の延伸に向けた介護予防・重症化予防の推進

# 第7期高松市高齢者保健福祉計画の進捗状況について

## 【2】基本目標・重点課題ごとの達成状況と課題

基本目標	安心して暮らし続けられる環境づくり
重点課題	生活環境の充実



(目標値設定項目数：8)

### 第8期計画に向けての課題

- \* 高齢者の外出支援、移動手段の充実
- \* 災害時や緊急時に対応する防災対策の推進
- \* 避難行動要支援者への支援体制の充実

# 第8期高松市高齢者保健福祉計画策定に係る基礎調査の結果について

## 【1】基礎調査の結果と課題

### ① 高齢者の暮らしと介護に関するアンケート

- 調査対象及び有効回収数  
(調査期間：令和元年12月2日～12月27日)
- 調査方法 郵送配布、郵送回収

調査種別	調査対象者	標本数	有効回収数	有効回収率
① 高齢者	65歳以上の高齢者 (要介護1～5の認定者を除く)	3,000人	1,933人	64.4%
② 要介護認定者	65歳以上の高齢者のうち、要介護1～5の認定者の方	2,800人	1,375人	49.1%
③ 一般市民	40歳以上65歳未満の方	1,000人	449人	44.9%
合計		6,800人	3,757人	55.3%

### ② 在宅介護実態調査

- 調査対象及び有効回収数  
(調査期間：令和元年6月1日～8月31日)
- 調査方法 認定調査員による聞き取り調査

調査対象者	標本数	有効回収数	有効回収率
在宅で生活をしている要支援・要介護認定を受けている方のうち、更新申請・区分変更申請に伴う認定調査を受ける(受けた)方	1,045人	1,045人	100.0%

## 第8期計画に向けての課題

- \* 必要なサービスを必要なタイミングで受けるための、適切な情報提供や相談体制の充実
- \* 社会参加の場の確保と、参加につながる仕組みづくり
- \* 高齢者人口の急増期を迎えても、できる限り在宅で生活できるような支援
- \* 家族等が介護できなくなる状況を見据えた、有料老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅等の適切な供給

# 第8期高松市高齢者保健福祉計画の骨子（案）について

## ①第8期計画において記載を充実する事項（案）について

### 【1】全国介護保険担当課長会議資料 基本指針（案）

- 2025・2040年を見据えたサービス基盤、人的基盤の整備
  - ・2025・2040年を見据え、地域ごとの推計人口等から導かれる介護需要等を踏まえて計画を策定
- 地域共生社会の実現
  - ・地域共生社会の実現に向けた考え方や取組について記載
- 介護予防・健康づくり施策の充実・推進（地域支援事業等の効果的な実施）
  - ・一般介護予防事業の推進に関して「PDCAサイクルに沿った推進」、「専門職の関与」、「他の事業との連携」について記載
- 有料老人ホームとサービス付き高齢者住宅に係る都道府県・市町村間の情報連携の強化
  - ・住宅型有料老人ホーム及びサービス付き高齢者向け住宅の設置状況を記載
  - ・整備に当たっては、有料老人ホーム及びサービス付き高齢者向け住宅の設置状況を勘案して計画を策定
- 認知症施策推進大綱を踏まえた認知症施策の推進
  - ・認知症施策推進大綱に沿って、認知症の人ができる限り地域のよい環境で自分らしく暮らし続けることができる社会の実現を目指すため、5つの柱に基づき記載。（普及啓発の取組やチームオレンジの設置及び「通いの場」の拡充等について記載）
- 地域包括ケアシステムを支える介護人材確保及び業務効率化の取組の強化
- 災害や感染症対策に係る体制整備
  - ・近年の災害発生状況や、新型コロナウイルス感染症の流行を踏まえ、これらへの備えの重要性について記載

# 第8期高松市高齢者保健福祉計画の骨子（案）について

## ②次期計画策定に向けた第7期計画の基本目標ごとの課題について

### 【1】基本目標1 共に支え合う地域づくり

項目	内容
国の基本指針	<ul style="list-style-type: none"><li>○地域共生社会の実現に向けた考え方や取組について記載。</li><li>○認知症施策推進大綱に沿って、認知症の人ができる限り地域のよい環境で自分らしく暮らし続けることができる社会の実現を目指すため、5つの柱に基づき記載。</li></ul>
アンケート調査結果	<ul style="list-style-type: none"><li>○必要な生活支援として、「体力や体調の変化について気軽に相談できる支援」の割合が約4割と高い。</li><li>○地域包括支援センターの認知度について、「高松市地域包括支援センターを知っている」高齢者が26.8%であり、依然として低い。</li><li>○認知症になっても地域で安心して暮らせるために重点を置くべきこととして、「認知症のことを相談できる窓口・体制の充実」の割合が高い。</li></ul>
課題	<ul style="list-style-type: none"><li>●高齢者が住み慣れた地域で安心してその人らしい生活を継続していくためには、必要なサービスを必要なタイミングで受ける必要があり、そのためには、適切な情報提供や相談体制の充実が求められる。</li><li>●認知症施策推進大綱に沿って、認知症の人ができる限り地域のよい環境で自分らしく暮らし続けることができる社会の実現を目指すため、認知症の発症遅延や重症化予防等の認知症予防を進めるとともに、医療・介護関係者をはじめ、地域や職域においても認知症への理解を深め、認知症の人及び介護者となった家族等の負担軽減を図る支援体制の強化が求められる。</li></ul>

# 第8期高松市高齢者保健福祉計画の骨子（案）について

## ②次期計画策定に向けた第7期計画の基本目標ごとの課題について

### 【2】基本目標2 自分らしい生活と生きがいつくり

項目	内容
国の基本指針	○一般介護予防事業の推進に関して「PDCAサイクルに沿った推進」、「専門職の関与」、「他の事業との連携」について記載。
アンケート調査結果	○生きがいの有無についてたずねたところ、「生きがいあり」と回答した人の割合は、高齢者で56.6%、要介護認定者で24.5%。 ○高齢者が集える場所に「参加してもよい」人の割合は50.8%だが、「参加している」人の割合は、12.8%。参加しない理由は、「きっかけがないから」「参加したくないから」。 ○介護・介助が必要になった主な原因は、高齢者では「高齢による衰弱」と回答した人の割合が最も高く27.0%。次いで、「骨折・転倒」15.7%、「心臓病」12.5%。要介護認定者では「脳卒中」と回答した人の割合が最も高く28.7%。次いで「認知症」で24.2%。
課題	●高齢者が長年培ってきた優れた技術や経験、知識等の持てる力を発揮できる活躍の場、社会参加の場の確保と仕組みづくりが必要である。 ●健康な時から、個人に合わせた適切な予防を行うなど、健康寿命の延伸に向け、介護予防・重症化予防を推進していくことが必要である。

# 第8期高松市高齢者保健福祉計画の骨子（案）について

## ②次期計画策定に向けた第7期計画の基本目標ごとの課題について

### 【3】基本目標3 安心して暮らし続けられる環境づくり

項目	内容
国の基本指針	○住宅型有料老人ホーム及びサービス付き高齢者向け住宅の設置状況を記載。
アンケート調査結果	○今後、介護が必要になった場合の住まいと介護サービスの利用希望について、「在宅での介護サービスを利用して、できる限り現在の住まいや地域に住み続けたい」と回答した人の割合が最も高く34.8%。 ○必要な生活支援については、「自然災害時等の緊急時の避難行動の支援」と回答した人の割合が最も高く41.7%。「外出が困難な高齢者への移動支援」が34.2%となっている。
課題	●今後、高齢者人口の急増期を迎えるにあたり、できる限り在宅又は地域で生活ができるような支援（住まいの確保、安全・安心な環境づくり）に努める必要がある。 ●大規模災害発生時の避難行動要支援者の登録情報が安否確認等に役立つよう、情報の更新等を適宜行い、避難行動要支援者名簿の未登録者に対しては、制度の周知・啓発を行うなど、登録率の向上を図る必要がある。 ●高齢者等身体機能が低下した人でも、健康な人と同じように外出ができ、日常的な活動や社会参加活動が支障なく行えるよう、外出支援・移動環境を充実する必要がある。

# 第8期高松市高齢者保健福祉計画の骨子（案）について

## 【1】計画策定の趣旨

本市では、平成30年3月に策定した「第7期高松市高齢者保健福祉計画（平成30～令和2年度）」における基本理念「住み慣れた地域で共に支え合い、高齢者が自分らしく安心して暮らし続けられる社会の実現」を目指し、各種施策を推進している。

現行計画が令和2年度末に計画期間満了となることから、令和3～5年度を計画期間とする「第8期高松市高齢者保健福祉計画」を策定する。

## 【2】計画策定の根拠等

本計画は、老人福祉法（第20条の8）の規定に基づく「老人福祉計画」と介護保険法（第117条第1項）の規定に基づく「介護保険事業計画」を一体的に策定するものである。

第6期以降の介護保険事業計画は「地域包括ケア計画」と位置付けられ、団塊の世代が75歳以上となる2025年までの各期間を通じて、地域包括ケアシステムを段階的に構築することとされている。

本市においては、第6期計画を「準備・推進期」、第7期計画を「充実期」と位置付け、地域包括ケアシステムの構築に取り組んできたが、第8期計画は「発展期」の計画とする。

H27 (2015)	H28 (2016)	H29 (2017)	H30 (2018)	R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)	R8 (2026)
											
第6期 介護保険事業計画			第7期 介護保険事業計画			第8期 介護保険事業計画			第9期 介護保険事業計画		
準備・推進			充 実			発 展			実 現		

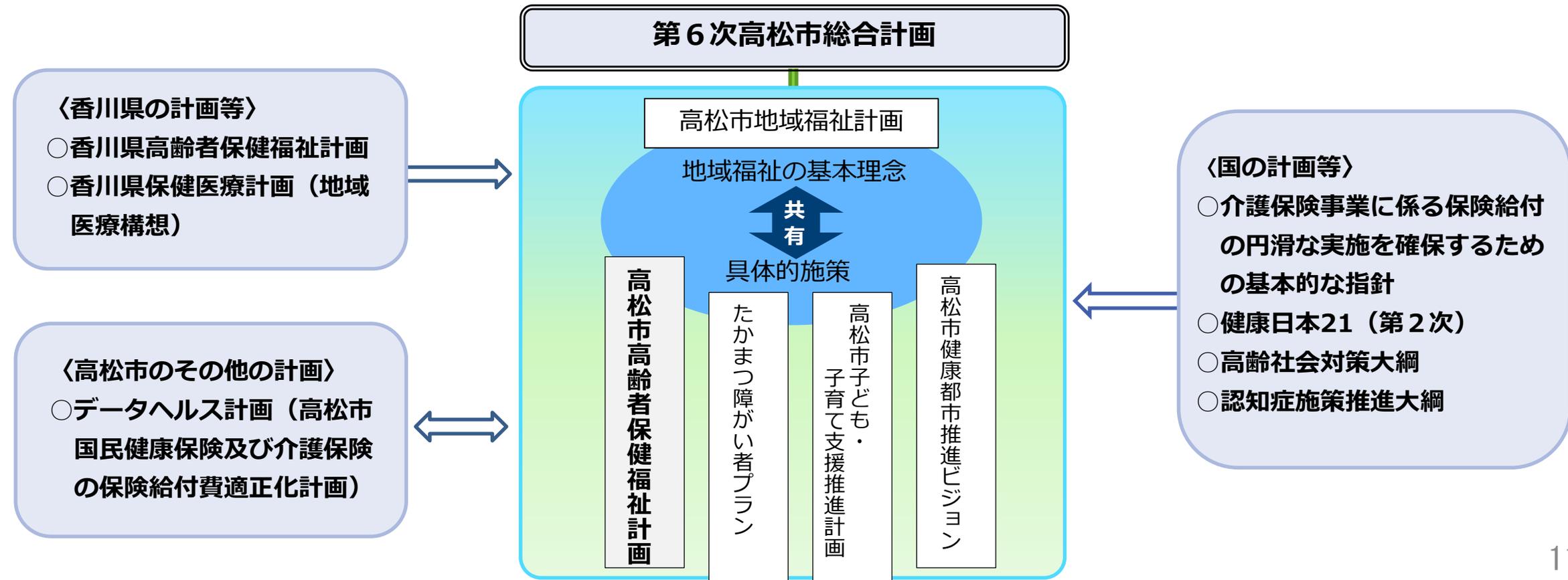
# 第8期高松市高齢者保健福祉計画の骨子（案）について

## 【3】他の計画との関係

本計画は、高松市の最上位計画である「第6次高松市総合計画」の分野別計画であり、本市の高齢者福祉・介護保険事業の総合的な計画である。

老人福祉法第20条の8第8項の規定にあるとおり、高松市地域福祉計画のほか、その他の法律の規定による計画で、老人の福祉に関する事項を定めるものとも調和が保たれたものでなければならない。

また、国及び県の関連計画等とも整合性をとりながら、施策を総合的かつ計画的に推進するものである。



# 第8期高松市高齢者保健福祉計画の骨子（案）について

## 【4】計画の構成

第7期計画においては、計画の概要や本市の現状についての記載を「第I部 総論」、基本理念や目標等についての記載を「第II部 ビジョン編」に分け、本市が目指す高齢者保健福祉の将来像を示し、「第III部 プラン編」で主な取組について記載した。

第8期計画では、第7期計画での目標や具体的な施策を踏まえ、2025年を目指した地域包括ケアシステムの整備、さらに現役世代が急減する2040年を念頭に、高齢者人口や介護サービスのニーズを中長期的に見据えることについて位置づけることが求められている。

また、本市の高齢者保健福祉計画においては、第7期計画を「充実期」、第8期計画を「発展期」と位置付け、地域包括ケアシステムの構築に取り組むことから、基本的には第7期計画の構成を引継ぐものとする。

## 【5】計画の基本理念

第8期計画は、これまで推進してきた計画の「発展期」であることから、計画の継続性に配慮し、第7期計画の基本理念を引継ぐ。

### ●第7期計画（現行）

住み慣れた地域で共に支え合い、  
高齢者が自分らしく安心して  
暮らし続けられる社会の実現



### ●第8期計画（継続）

住み慣れた地域で共に支え合い、  
高齢者が自分らしく安心して  
暮らし続けられる社会の実現

# 第8期高松市高齢者保健福祉計画の骨子（案）について

## 【6】計画の基本目標・重点課題

今後、高齢者が住み慣れた場所で暮らしていくためには、自らの健康を保ち、自らが役割を持つことで、生きがいを感じる事が重要であり、そのような高齢者が地域を支える人材としての役割を担いながら、自分らしい生活をする必要がある。

7期計画では地域共生社会の土台づくりに取り組んできたが、今後、住み慣れた地域で、健康を保ち、安心して暮らすためには、介護予防が重要になるため、基本目標「自分らしい生活と生きがいづくり」を1番目の基本目標とする。

また、地域共生社会の構築に向けて、地域のみんなで助け合い、支え合うために、まずは人と人がつながることのできる地域づくりを目指すため、基本目標を「共に支え合い、つながる地域づくり」とする。

### ●第7期計画（現行）

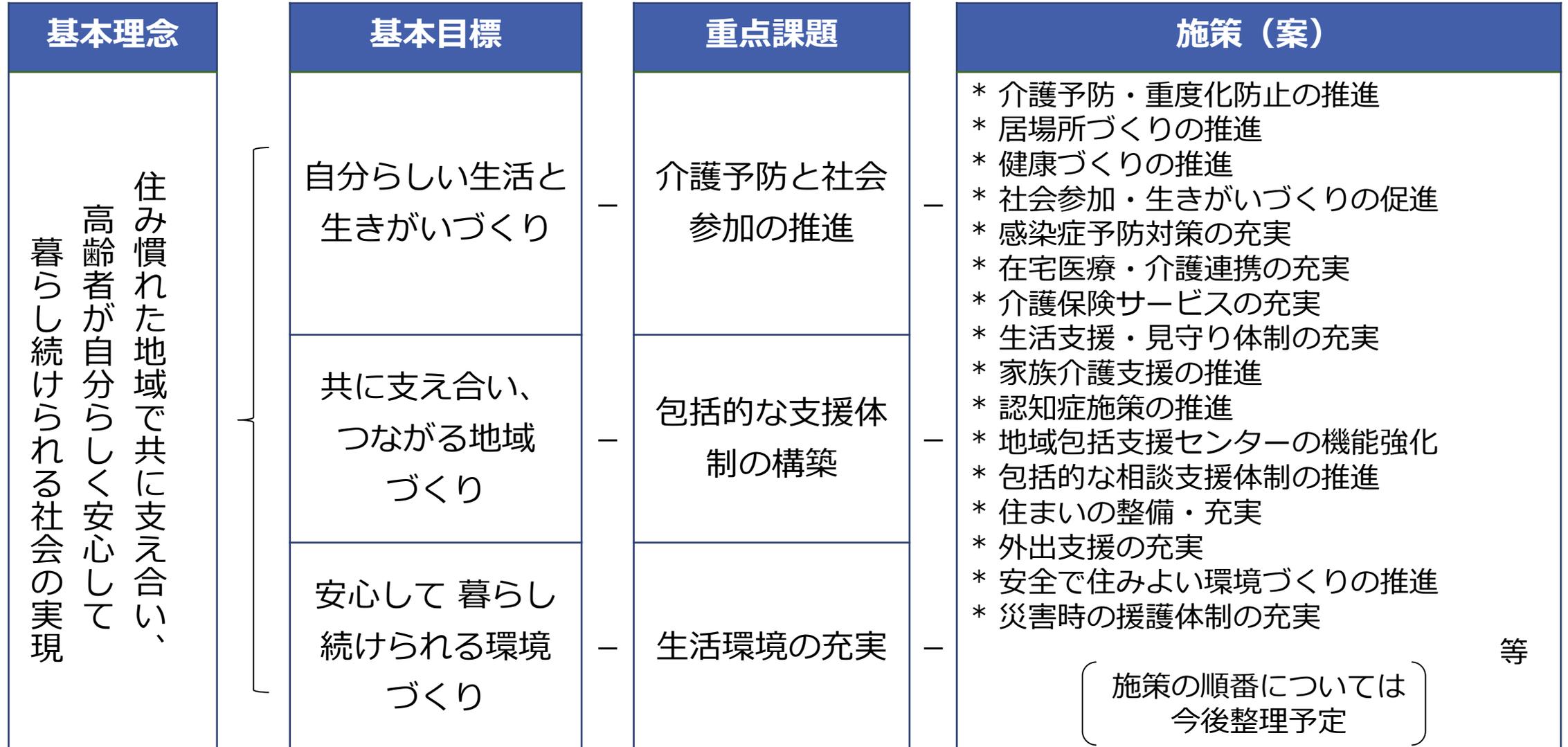
①	基本目標	共に支え合う地域づくり
	重点課題	包括的な支援体制の構築
②	基本目標	自分らしい生活と生きがいづくり
	重点課題	介護予防と社会参加の推進
③	基本目標	安心して暮らし続けられる環境づくり
	重点課題	生活環境の充実

### ●第8期計画

①	基本目標	自分らしい生活と生きがいづくり
	重点課題	介護予防と社会参加の推進
②	基本目標	共に支え合い、つながる地域づくり
	重点課題	包括的な支援体制の構築
③	基本目標	安心して暮らし続けられる環境づくり
	重点課題	生活環境の充実

# 第8期高松市高齢者保健福祉計画の骨子（案）について

## 【7】施策の体系図



# 第8期高松市高齢者保健福祉計画の策定に向けたスケジュールについて

	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
本部会	第1回 8/3				第2回 上旬予定		(第3回) 〔パブコメにより、大幅な 変更がある場合に実施 下旬予定〕	
政策会議	第1回 8/7			第2回 下旬予定	第3回 下旬予定		(第4回) 〔パブコメにより、大幅な 変更がある場合に実施 下旬予定〕	
運営 協議会	第2回 8/27					第3回 下旬予定	第4回 下旬予定	
調査会		第1回 上旬予定				第2回 下旬予定		
主な 協議内容	・第8期計画骨子案			・サービス見込量 ・次期介護保険料、施設整備方針等 ・第8期計画素案			パブコメ	・第8期計画最終案
介護保険事 業計画		サービス見込量・ 介護保険料仮算定					介護報酬改定 →介護保険料確定	条例改正